平成 23 年度 第 2 回子ども読書活動推進懇話会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 23 年 10 月 20 日（木）午後 2 時～4 時 40 分
- 2 開催場所 木曾川庁舎 3 階 第 3 会議室
- 3 出席者 推進懇話会委員 7 名（欠席 3 名）
推進会議委員 12 名
事務局 6 名
- 4 議題
 - (1) 平成 23 年度子ども読書活動推進関連事業について
 - (2) その他
- 5 開会（事務局が開会を宣言）

教育長挨拶
懇話会会長挨拶

 - ・ 会議は、平成 23 年度第 2 回一宮市子ども読書活動推進懇話会及び第 1 回一宮市子ども読書活動推進会議の合同会議として開催した。
 - ・ 議事の進行は、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第 5 条に基づき、子ども読書活動推進懇話会会長が務めた。
 - ・ 会議内容のホームページ公開を事務局提案。わかりやすく読んでいただけるよう、要旨での公開をすることです承された。
- 6 会議録（要旨）

（会長） 議題 1 について審議を願います。

（事務局）一宮市子ども読書活動推進計画目標値及び進捗状況表により、施策毎に事業の進捗状況を報告

（委員） 2 次計画では目標値を見直しますか。

（事務局）策定部会で内容の検討を始めた段階ですが、見直しも視野に入れております。

（委員） 移動図書館車の小学校ステーション目標値 42 校は、1 台では限界があります。

（委員） 保育園での読み聞かせや絵本活用は大切なことと思います。

（委員） 図書館ではレファレンスが重要視されます。研修による質の向上が必要です。学校図書館での司書は充足しているのですか。

（事務局）図書館を古く知るOBを招き、職員研修を開催しています。カウンター経験が 20～30 年あるパートさんは司書資格がなくても蔵書に精通をしています。小中学校図書館には司書資格を持った方を全校配置しています。

（委員） ブックスタートで絵本を渡した後のフォローアップについて、第 2 次計画に盛り込めませんか。

(事務局) 策定部会で検討をします。

(委員) 新図書館で、子どものためのレファレンスコーナーはいかがでしょうか。

(事務局) 子どものレファレンスは大切です。コーナー設置も良いがフローアークがより大切と考えます。

(委員) 職員がフロアを巡回し声掛けをするレファレンスをぜひやってください。

(委員) 子ども文化広場図書館発行のお薦本リストを全館で活用してください。

(事務局) 子ども文化広場図書館で作成されたリストは、全図書館に置いておりません。積極的に活用を図ります。

(委員) 読書は決まった場所でするものではない。病院やスポーツ施設など、身近な場所に読書ステーションがあればと考えます。実現には、施設間の横のつながりが大切です。

(委員) 子どもを連れてお母さんは車で出かける機会が多い。駐車場がたくさんある木曾川図書館の利用が増える気がします。

(委員) 新図書館の駐車場問題は、図書館協議会で検討されることと思います。

(委員) 直営の学校図書館司書は、新たに職員を採用したのですか。

(事務局) 学校教育課で臨時職員を採用し、各学校に派遣しました。業務委託時と内容は変わりません。本の相談に乗れる人がいつもいて、図書館主任、先生方も入って子どもたちの指導をしています。

(会長) 意見も出つくしたようなので、本日の議題については、了としたいと思います。

(事務局) ありがとうございました。

【資料】 一宮市子ども読書活動推進計画目標値及び進捗状況一覧 (HP同時公開)

(以上)